

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年11月7日

上場会社名 アステリア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3853 URL <https://jp.asteria.com/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）平野 洋一郎
 問合せ先責任者 （役職名）常務執行役員コーポレート本部長 （氏名）齊藤 裕久 TEL 03-5718-1655
 半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 機関投資家及び個人投資家向け

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		調整後EBITDA		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	1,608	4.0	490	0.3	523	622.8	470	—	430	—	418	—	711	—
2025年3月期中間期	1,546	8.3	489	30.8	72	—	△88	—	△155	—	△126	—	△142	—

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	25.23	25.23
2025年3月期中間期	△7.49	△7.49

（注）1. 基本的及び希薄化後1株当たり中間利益については、親会社の所有者に帰属する中間利益の数値を基に算出しております。
 2. 調整後EBITDA＝営業利益＋減価償却費土その他の調整項目（のれん減損、未実現買収対価、投資事業にかかる未実現評価損益等）。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	8,192	6,515	6,366	77.7
2025年3月期	7,858	6,239	6,105	77.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	8.00	8.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	8.50	8.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	3,500	10.4	850	8.8

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① I F R Sにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	17,491,265株	2025年3月期	17,491,265株
2026年3月期中間期	1,156,521株	2025年3月期	683,921株
2026年3月期中間期	16,580,799株	2025年3月期中間期	16,807,344株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は、公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、以下の通りインターネットでの決算説明会を開催する予定です。使用する資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、説明会の模様は、YouTube Liveによりライブ配信するほか、後日当社ウェブサイトでも公開する予定です。

2025年11月7日（金） 18：00～

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の状況	2
(2) 当中間期の財政状態の状況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約中間連結財政状態計算書	4
(2) 要約中間連結損益計算書	6
(3) 要約中間連結包括利益計算書	7
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の状況

区 分	前中間期	当中間期	増減率
売 上 収 益	1,546百万円	1,608百万円	4.0%
調 整 後 E B I T D A	489百万円	490百万円	0.3%
営 業 利 益	72百万円	523百万円	622.8%
税引前中間利益又は税引前中間損失（△）	△88百万円	470百万円	－%
親会社の所有者に帰属する中間利益又は親会社の所有者に帰属する中間損失（△）	△126百万円	418百万円	－%

<売上収益及び利益の状況>

当中間連結会計期間（2025年4月～9月。以下、「当中間期」）における当社グループの売上収益は、主力であるソフトウェア事業の継続的な拡大により、前年同期比で4.0%増の1,608百万円となりました。

利益は、ソフトウェア事業の強固な収益性を維持したことに加え、企業投資事業における抜本的な構造改革の進展により利益水準が向上した結果、営業利益523百万円、税引前中間利益470百万円、親会社の所有者に帰属する中間利益418百万円となりました。

<当社の報告セグメント>

当社は、「ソフトウェア事業セグメント」と「投資事業セグメント」の2つを報告セグメントとしています。

《ソフトウェア事業セグメント》

	前中間期	当中間期	前年同期比
売 上 収 益	1,546百万円	1,608百万円	104.0%

データ連携ツール「ASTERIA Warp」は、SAP 2027年問題対策やレガシーシステムの刷新ニーズを背景に堅調に推移し、前年同期比3.0%増収の1,382百万円となりました。また、サブスクリプション（月額課金販売）モデルは35.0%の増収を記録し、売上収益の安定化も加速しています。8月にはiPaaS製品「Warp Cloud」の提供開始や、日本円建ステーブルコインJPYCに対応した新アダプターの開発に着手するなど、新たな市場ニーズにも対応しています。

モバイルアプリ作成ツール「Platio」は、現場業務のデジタル化やDX需要の拡大により、多様な業界・業種での導入が進み、前年同期比32.4%の増収を記録しました。9月にはエンタープライズ向け製品「Platio Canvas」を提供開始、大規模な企業・部門にも対応し利用領域を拡大しています。

さらに、ノーコードアプリ開発ツールを手掛けるMikoSea株式会社の買収により、当社のノーコード製品ポートフォリオが拡大予定です。これにより、従来のビジネス用途に加えて個人向けニーズにも対応領域が広がり、第3四半期以降の事業拡大に向けてシナジー効果の創出を追求してまいります。

《投資事業セグメント》

	前中間期	当中間期	前年同期比
評 価 額 の 増 減 （ △ は 減 少 ）	△271百万円	163百万円	－%

Asteria Vision Fund I, L.P. (AVF-1)を通じて、当社のソフトウェア事業と同じ「D4G」（Data, Device, Decentralized, Design for Green）領域への投資を実施し、国際会計基準に基づいて投資先の評価損益を計上しており、当中間期においては、主としてSpaceX社の評価益を計上しました。

（2）当中間期の財政状態の状況

資産、負債及び資本の状況

（資産）

当中間連結会計期間における資産合計は、前連結会計年度末に比べ334百万円増加し、8,192百万円となりました。主な要因は、その他の金融資産420百万円の増加に対し、現金及び現金同等物97百万円の減少によるものです。

（負債）

負債合計は、前連結会計年度末に比べ58百万円増加し、1,677百万円となりました。主な要因は、その他の流動負債（主に事業活動による契約負債）104百万円の増加に対し、その他の金融負債（リース負債）25百万円の減少によるものです。

（資本）

資本合計は、前連結会計年度末に比べ276百万円増加し、6,515百万円となりました。主な要因は、自己株式の取得による301百万円の減少に対し、その他の資本の構成要素279百万円及び利益剰余金284百万円の増加によるものです。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末より、97百万円減少し、2,717百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は327百万円（前年同期558百万円の獲得）となりました。主に税引前中間利益470百万円の増加のほか、その他の収益191百万円（主に投資にかかる未実現利益）の減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、獲得した資金は33百万円（前年同期797百万円の獲得）となりました。主に投資の売却及び償還による収入37百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は465百万円（前年同期184百万円の使用）となりました。主に自己株式の取得による支出301百万円及び配当金の支払額134百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

（1）要約中間連結財政状態計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,814,062	2,716,697
営業債権及びその他の債権	243,759	220,217
棚卸資産	3,731	4,727
その他の流動資産	62,720	85,532
流動資産合計	3,124,272	3,027,172
非流動資産		
有形固定資産	840,860	802,457
無形資産	316,930	351,335
持分法で会計処理されている投資	132,320	135,452
繰延税金資産	217,783	224,008
その他の金融資産	3,033,852	3,454,012
その他の非流動資産	191,927	197,377
非流動資産合計	4,733,673	5,164,642
資産合計	7,857,945	8,191,814

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	100,000	100,000
営業債務及びその他の債務	99,868	97,209
未払法人所得税等	155,417	137,839
その他の金融負債	58,166	54,657
その他の流動負債	893,579	997,118
流動負債合計	1,307,030	1,386,823
非流動負債		
引当金	9,419	9,432
その他の金融負債	302,014	280,525
非流動負債合計	311,433	289,957
負債合計	1,618,463	1,676,780
資本		
資本金	2,275,343	2,275,343
資本剰余金	2,522,045	2,520,696
自己株式	△505,334	△805,293
その他の資本の構成要素	692,920	971,528
利益剰余金	1,120,010	1,403,879
親会社の所有者に帰属する持分合計	6,104,985	6,366,153
非支配持分	134,497	148,881
資本合計	6,239,482	6,515,034
負債及び資本合計	7,857,945	8,191,814

（２）要約中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
売上収益	1,545,977	1,607,814
売上原価	167,753	195,411
売上総利益	1,378,225	1,412,403
販売費及び一般管理費	1,038,578	1,079,969
その他の収益	4,215	191,345
その他の費用	271,440	292
営業利益	72,422	523,487
金融収益	10,882	6,452
金融費用	165,536	63,412
持分法による投資損益（△は損失）	△5,960	3,744
税引前中間利益（△は損失）	△88,192	470,271
法人所得税費用	66,669	40,426
中間利益（△は損失）	△154,861	429,845
中間利益（△は損失）の帰属		
親会社の所有者	△125,874	418,328
非支配持分	△28,987	11,516
中間利益（△は損失）	△154,861	429,845
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益（△は損失） （円）	△7.49	25.23
希薄化後1株当たり中間利益（△は損失） （円）	△7.49	25.23

（３）要約中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日）	当中間連結会計期間 （自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日）
中間利益（△は損失）	△154,861	429,845
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融 資産	△113	233,655
純損益に振り替えられることのない項目合計	△113	233,655
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	13,074	47,820
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	13,074	47,820
その他の包括利益合計	12,960	281,475
中間包括利益	△141,901	711,320
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	△85,522	696,936
非支配持分	△56,378	14,384
中間包括利益	△141,901	711,320

（４）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益（△は損失）	△88,192	470,271
減価償却費及び償却費	114,611	143,980
金融収益	△10,882	△6,452
金融費用	165,536	63,412
持分法による投資損益（△は益）	5,960	△3,744
その他の収益	△4,215	△191,345
その他の費用	271,440	292
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	△4,095	23,542
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△907	△2,659
その他	5,584	△75,708
小計	454,841	421,591
利息及び配当金の受取額	68,113	7,012
利息の支払額	△2,822	△2,375
法人所得税の支払額又は還付額（△は支払）	37,609	△99,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	557,740	326,688
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,670	△5,362
有形固定資産の売却による収入	62	—
貸付金の回収による収入	470,760	—
投資の取得による支出	—	△15,034
投資の売却及び償還による収入	336,771	36,704
その他	△6,267	16,550
投資活動によるキャッシュ・フロー	796,657	32,857
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△71,400	—
リース負債の返済による支出	△25,000	△31,058
配当金の支払額	△75,299	△134,072
非支配持分からの払込による収入	3,062	1,435
非支配持分への分配金の支払による支出	△15,629	—
自己株式の取得による支出	—	△301,445
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184,266	△465,140
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,170,130	△105,595
現金及び現金同等物の期首残高	1,731,347	2,814,062
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△20,504	8,230
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,880,974	2,716,697

（５）要約中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

（１）報告セグメントの概要

当企業グループの報告セグメントは、当企業集団の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、「ソフトウェア事業」及び「投資事業」の２つを報告セグメントとし、２つの事業を基礎として組織が構成されています。

「ソフトウェア事業」には、当社が創業来拡大している企業向けの事業で構成されます。

「投資事業」は、米国に拠点を置く100%子会社Asteria Vision Fund Inc.が管理する投資で構成されております。

（２）報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及び資産の金額に関する情報

前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

	報告セグメント			調整額 (注１)	連結
	ソフトウェア事業	投資事業	計		
	千円	千円	千円	千円	千円
売上収益					
外部収益	1,545,977	—	1,545,977	—	1,545,977
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	1,545,977	—	1,545,977	—	1,545,977
セグメント利益（△は損失） （注２）	374,110	△305,901	68,209	—	68,209
その他の収益及び費用（注２）					4,213
金融収益					10,882
金融費用					165,536
持分法による投資損益（△は損失）					△5,960
税引前中間利益（△は損失）					△88,192
その他の項目					
減価償却費及び償却費	114,521	90	114,611	—	114,611

（注）１．「調整額」は、主としてセグメント間取引消去額を表示しております。

２．セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しておりますが、その他の収益及び費用のうち、Asteria Vision Fund I, L.P. で保有する純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に関する評価損益は投資事業のセグメント利益に振り替えております。

当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結
	ソフトウェア事業	投資事業	計		
	千円	千円	千円	千円	千円
売上収益					
外部収益	1,607,814	—	1,607,814	—	1,607,814
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	1,607,814	—	1,607,814	—	1,607,814
セグメント利益（△は損失） （注2）	346,157	149,738	495,895	—	495,895
その他の収益及び費用（注2）					27,592
金融収益					6,452
金融費用					63,412
持分法による投資損益（△は損失）					3,744
税引前中間利益（△は損失）					470,271
その他の項目					
減価償却費及び償却費	143,980	—	143,980	—	143,980

（注）1. 「調整額」は、主としてセグメント間取引消去額を表示しております。

2. セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しておりますが、その他の収益及び費用のうち、Asteria Vision Fund I, L.P. で保有する純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に関する評価損益は投資事業のセグメント利益に振り替えております。

（親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。